



リーダーシップ

おきなわ F B 短信 (19)
(1分間で読めます。)

平成 21 年 3 月 12 日 (木)

1990年代は、日本に精彩のなかった試練の10年(失われた10年)であったが、2000年代に入ってもその傾向は続いている。その原因はリーダーが有能でなかった、リーダーシップ不在にあると言われている。

確かにこの間、需要が不足し、税収も、給与も減少する中でリーダーの人材が不足していたことは明らかである。

リーダーが有能でないと、その国家や地域がひどい目に合う、ひどい目に合う状態でなくとも、あるべき成果を上げられないということは明らかである。

この20年間、いやその前からの10年を加えても、沖縄は大きな発展のチャンスがある時代であった。しかし乍ら、その発展は必ずしも満足のいくものではなかった。その最大の原因は、リーダーの不在ということが出来るのではないか。

それは、沖縄と類似の自然的社会的条件を持つハワイやシンガポールや香港と比較すると明らかである。

確かに発展の歴史や社会的環境の違いもあり、一概に断定することは正しくないかもしれない。しかし、この30年間、沖縄に有能なリーダーが存在していたであろうか。

U.S.A やリー・クワン・ユーや大英帝国のような展望を持って、沖縄の資源を活用し、沖縄県民に方向性を与えるようなリーダーである。

完全なものを求めるのは無理としても、その達成度には反省すべき点が多い。

企業でも地域でも、リーダー即ち経営者というものはリーダーシップを発揮して企業や地域を活性化し、その構成員に幸せを感じさせる人でなければならない。

そのリーダーシップとは、本質は何かを見極め、新しい見方で人々を刺激して、地域や住民にとってプラスの価値を選ぶことであり、その時、何かを捨てる、何かを人々に我慢させられる人である。